

安全データシート

作成日:2004年05月06日

改訂日:2024年03月01日

1/7

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 ジェットパック パッカー3

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名 住友大阪セメント株式会社
担当部署 建材事業部
住所 〒105-8641 東京都港区東新橋 1-9-2 汐留住友ビル 20 階
電話番号 03-6370-2721
Fax 番号 03-6370-2759
緊急連絡先 技術グループ
緊急連絡電話番号 047-457-7651

推奨用途

コンクリートの原料として用いられる

使用上の制限

推奨用途以外で取扱いをする場合は、用途・条件に適した安全対策を実施の上、取り扱うこと。

2 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 :

GHS 分類

物理化学的危険性 : 区分に該当しない
健康に対する有害性
呼吸器感作性 : 区分 1
皮膚感作性 : 区分 1
発がん性 : 区分 1A
環境に対する有害性 : 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H334 吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ。

安全データシート

作成日:2004年05月06日

改訂日:2024年03月01日

2/7

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H350 発がんのおそれ。

注意書き

- 【安全対策】 : P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
: P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
: P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
: P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
: P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
: P284 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
- 【応急措置】 : P304+P340 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
: P342+P311 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること
: P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
: P333+P313 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
: P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
: P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 【保管】 : P405 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 : P501 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
- 【使用上の注意】: 安全データシート(SDS)を参照してください。

3 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : メラミン系コンクリート用化学混和剤
危険有害成分

化学名	濃度	CAS 番号	官報公示整理番号
ホルムアルデヒド	約 0.025%	50-00-0	(2) - 482

成分及び含有量

成分	含有量 (%)
変性メチロールメラミン縮合物	0.35~4.5
ホルムアルデヒド	約 0.025
水	90~99

安全データシート

作成日:2004年05月06日

改訂日:2024年03月01日

3/7

4 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合 : 医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石けんで洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口内を水ですすぐ。直ちに医師の診断/手当てを受ける。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重要な影響または危険性は不明
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項
救助者はゴム手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

5 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 情報無し
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素化合物等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。周囲の設備などに散水して冷却する。関係者以外は安全な場所に退避させる。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
多量の場合、人を安全に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。蒸気の吸入及び皮膚と目との接触を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。
多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策 : 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となる

安全データシート

作成日: 2004年05月06日

改訂日: 2024年03月01日

4/7

ため注意する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 安全取扱い注意事項 : 適切な排気換気装置を使用する。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い冷暗所で施錠して保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8 ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : ホルムアルデヒド ; 0.1ppm
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 : ホルムアルデヒド ; 0.1ppm
ACGIH : ホルムアルデヒド ; 0.1ppm(TWA), 0.3ppm(STEL)
- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 換気が不十分である場合は、適切な呼吸用保護具を着用する。
- 手の保護具 : 不浸透性（耐薬品、耐油、耐溶剤）保護手袋
- 目の保護具 : 側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型保護眼鏡）
- 皮膚及び身体の保護具 : 皮膚が直接暴露されないような保護具を着用する。
- 適切な衛生対策 : 情報無し

9 物理的及び化学的性質

- 外観（物理的状态、形状、色）: 液体、紫色
- 臭い : 弱い特有の臭いを有する。
- pH : 9.0~11.0
- 沸点 : 情報無し
- 融点（流動点）: 情報無し
- 引火点 : 測定不能（水含有品のため）
- 燃焼又は爆発限界 : 上限 情報無し、下限 情報無し

安全データシート

作成日:2004年05月06日

改訂日:2024年03月01日

5/7

蒸気圧	: 情報無し
蒸気密度	: 情報無し
比重 (密度)	: 1~1.1 g/m l (20℃)
溶解度	
水溶解性	: 可溶 (易溶)
溶媒溶解性	: 情報無し
n-オクタノール/水分分配係数 (log Pow)	: 情報無し
自然発火温度	: 情報無し
分解温度	: 情報無し
臭いの閾値	: 情報無し
蒸発速度	: 情報無し
燃焼性 (固体、ガス)	: 情報無し
粘度	: 情報無し
その他データ	: 情報無し

10 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用条件において既知の危険な反応はない。
化学的安定性	: 通常の使用では安定。
危険有害反応可能性	: 特記すべき反応性なし。
避けるべき条件	: 特記すべき条件はなし。
混触危険物質	: 情報無し
危険有害な分解生成物	: 通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。
その他	: 情報無し

11 有害性情報

急性毒性	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 吸入するとアレルギー、ぜん (喘) 息又は呼吸困難を起こすおそれ (成分のデータ) ホルムアルデヒド 日本産業衛生学会において感作性物質の気道第 2 群に分類されている (産衛学会許容濃度の提案理由書 (2007))。マウス及

安全データシート

作成日:2004年05月06日

改訂日:2024年03月01日

6/7

びモルモットを用いた感作性試験において本物質が吸入性アレルギーへの感作性を 増強させたとの記述 (CICAD 40 (2002))、ヒトにおける本物質の継続ばく露による呼吸障害の発症などの複数の事例の記述 (DFGOT (2014) (Access on June 2017)) がある。

皮膚感作性	: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (成分のデータ) ホルムアルデヒド 日本産業衛生学会において感作性物質の皮膚第1群に分類されている(産衛学会許容濃度の提案理由書(2007))。
生殖細胞変異原性 発がん性	: 分類できない : 発がんのおそれ (成分のデータ) ホルムアルデヒド 多くの疫学研究から、ホルムアルデヒドは鼻咽頭がん及び白血病を生じること、また本物質へのばく露と副鼻腔がんとの間に正の相関のあることが報告されており、IARCはヒトでの発がん性について十分な証拠があると結論した(IARC 100F (2012))。
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12 環境影響情報

生態毒性	: 区分に該当しない
残留性/分解性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
オゾン層への有害性	: 分類できない

13 廃棄上の注意

残余廃棄物: 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装の廃棄方法: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14 輸送上の注意

国際法規則
国連分類・国連番号 : 国連勧告の定義上危険物に該当しない。

安全データシート

作成日: 2004年05月06日

改訂日: 2024年03月01日

7/7

国内法規制	陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策	: “取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

15 適用法令

国内適用法令

消防法	: 非危険物
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法57条1、施行令第18条) ; ホルムアルデヒド 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) ; ホルムアルデヒド (政令番号548)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	: ホルムアルデヒド (特定第1種指定化学物質番号411)
毒劇物取締法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない

16 その他の情報

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253: 2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するため、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。本 SDS は必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

引用文献

- ・ GHS 対応ガイドライン、日本化学工業協会
- ・ GHS 分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
- ・ GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253: 2019)

安全データシート

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 ジェットセッター

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名 住友大阪セメント株式会社

担当部署 建材事業部

住所 〒105-8641 東京都港区東新橋 1-9-2

電話番号 03-6370-2721

Fax 番号 03-6370-2759

緊急連絡先 技術グループ

緊急連絡電話番号 047-457-7651

推奨用途

遅延剤として用いられる

使用上の制限

推奨用途以外で取扱いをする場合は、用途・条件に適した安全対策を実施の上、取り扱うこと。

2 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

分類できない

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 区分 2A

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分 3 (気道刺激性)

上記項目以外は「区分に該当しない」、「分類できない」である。

環境に対する有害性

全項目とも「区分に該当しない」、「分類できない」である。

GHS 絵表示



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

安全データシート

注意書き

【安全対策】 : 粉塵、ミスト、蒸気などの吸入を避ける。
換気の良い場所でのみ使用する。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、防塵マスクなどを着用する。

【応急措置】

吸入した場合 : 新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。

眼に入った場合 : 流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
取り扱った後、手を洗う。

【保管】 : 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
施錠して保管する。

【廃棄】 : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

: 可燃性。粉末や顆粒状で空気と混合すると粉じん爆発の可能性がある。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品

化学名又は一般名 : モルタル、コンクリート用遅延剤

化学特性（化学式等）

成分名	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
有機カルボン酸	99 以上	非公開	非公開	非公開

4 応急措置

吸入した場合 : 速やかに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
咳等が治まらなければ医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合 : 速やかに多量の水で十分に洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。

目に入った場合 : 速やかに清浄な流水で最低 15 分洗顔した後、医療処置を受ける。

飲み込んだ場合 : 多量の水で飲ませ、必要に応じて医師の処置を受ける。

5 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡

安全データシート

使ってはならない消火剤	: 特になし
特定の消火方法	: 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。この物質は可燃性である。
消火を行う者の保護	: 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 作業の際は適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、防塵マスク）を着用し、飛散したものが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収・中和	: 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流すが、適切な排水処理を行う。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 皮膚に付けたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具（保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、防塵マスク）を着用する。
注意事項	: みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。 : 取扱い後は顔、手、口等を水洗する。
安全取扱い注意事項	: 室温では難燃性であるが、裸火や電熱ヒーター等の非常に高温にさらすと燃焼するので、このような熱源に近くには置かない。
保管	
適切な保管条件	: 容器は密栓して冷暗所に保管する。(30℃以下) 水との接触のおそれがない場所に貯蔵する。
混触禁止物質	: 強塩基、酸化剤、金属と一緒に保管しない。
安全な容器包装材料	: ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 設定されていない
許容濃度	
日本産業衛生学会 (2021年度版)	: 設定されていない
ACGIH (2021年度版)	: 設定されていない

安全データシート

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

: 取り扱い場所の近くに手洗い、洗顔設備を設けることが望ましい。
作業する場所に上記設備が設けられない場合には、作業する場所近くにポリ缶あるいは洗眼ビンを用意してください。

保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスク
手の保護具 : 保護手袋
眼の保護具 : 保護メガネ
皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護衣

9 物理的及び化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色) : 固体、結晶または結晶性粉末、無色～白色

臭い : 無臭

pH : 2.2 (0.1N 溶液、20℃)

沸点 : 約 175℃ (分解)

融点 : 約 135℃

引火点 : 約 500℃

発火点 : 約 1010℃

爆発範囲 : 0.28～2.29vol% (空気中)

密度 : 1.50～1.70g/cm³ (20℃)

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 約 60% (20℃)
有機溶媒 ; エタノールに易溶

10 安定性及び反応性

化学的安定性 : 乾燥した空气中で風化する。湿った空气中では潮解性。

危険有害反応可能性 : アルカリ性物質と接触すると反応する。
水溶液は弱酸性である。
金属を腐食させる。

避けるべき条件 : 日光、熱。

混触危険物質 : アルカリ性物質、酸化剤

危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

その他 : 可燃性である。

安全データシート

11 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
（経皮）	: データ不足のため分類できない。
吸入（蒸気）	: データ不足のため分類できない。
吸入（粉塵・ミスト）	: データ不足のため分類できない。 多量に経口摂取すると、悪心、嘔吐などを起こすことがある。 マウス 経口 LD50=5040mg/kg ラット 腹腔内注射 LD50=375mg/kg
皮膚腐食性／刺激性	: 区分に該当しない OECD ガイドラインによるウサギ皮膚刺激性試験では刺激性はなく、 紅斑や浮腫は見られなかった。
眼に対する重篤な損傷／刺激性	: 眼に対して強い刺激性がある（区分 2A） OECD ガイドラインによるウサギ眼刺激性試験では強い眼刺激性が あり、結膜炎が観察された。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない
皮膚感作性	: データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない 経世代変異原性試験（優性致死試験）で陰性
発がん性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない ラットの二世代生殖試験で生殖能に悪影響は認められない。また、ラ ット、ウサギおよびハムスターの器官形成期にばく露した試験で、い ずれの動物種とも催奇形性を含む仔の発生に悪影響は示されていな い。
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	: 呼吸器への刺激のおそれ（区分 3） 吸入ばく露によりイヌおよびモルモットで気管支収縮、ヒトおよびモ ルモットで咳の発生が報告されている。
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	: 区分に該当しない ラットを用いた経口ばく露試験で、2260mg/kg/day を 6 週間ばく 露（90 日補正值：1043mg/kg/day）で影響なく、2 年間経口ばく 露試験の NOAEL は 1200 mg/kg/day、さらに 1.2%（600mg/kg

安全データシート

／day) 1年間経口ばく露でもほとんど悪影響はなかった。

吸引性呼吸器有毒性 : データ不足のため分類できない

12 環境影響情報

生態毒性

魚毒性 水生毒性 (急性) : 区分に該当しない

水生毒性 (慢性) : 区分に該当しない

魚類 (ブルーギル) LC50=1516mg/1/96H

残留性/分解性 : データなし

生態蓄積性 : データなし

13 廃棄上の注意

残余廃棄物 :

- ・多量の水で希釈して、pHを中性に調整した後、関係法令を遵守して処理する。
- ・処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表 (マニフェスト) を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

使用済容器 : 容器は、産業廃棄物として処分する。

14 輸送上の注意

国際規制によるコード及び分類に関する情報 : 該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件 :

- ・粉塵のたたない方法で輸送する。
- ・破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実にを行う。
- ・湿気、水漏れに注意する。

15 適用法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

海洋汚染防止法 : 施行令別表第1有害液体物質 (D類)

水質汚濁防止法

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 第一種、第二種指定化学物質に該当しない

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 非該当

16 その他の情報

住友大阪セメント株式会社

安全データシート

製品名:ジェットセッター

作成日:2001年05月01日

改訂日:2022年11月28日

7/7

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253: 2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するため、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。本 SDS は必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。